

交通ビッグデータを用いた 最新の課題解決事例と今後の展望

現在、各方面でデジタルトランスフォーメーション(DX)の導入が進められています。DX 導入によっては、新しいビジネスモデルの確立などが期待されていますが、交通工学の分野においても、ビッグデータを活用した新しい交通管制や交通制御手法、さらには新しい交通安全対策を実施していくことが期待されています。そこで本講習会では、交通ビッグデータの活用によって大きな変革を迎えつつある交通管理技術や道路管理技術の現状を紹介し、具体的には、交通ビッグデータを用いた交通モニタリング技術、さらには同交通モニタリング技術の交通安全対策や道路交通管理への適用事例を紹介するとともに、今後期待される交通ビッグデータの活用方法について展望します。会員の方々をはじめ、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

■主 催：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/> ■後 援：警察庁・国土交通省(予定)

■開催日：2022 年 7 月 20 日(水)

■会 場：内幸町ホール(東京都千代田区内幸町 1-5-1) ※オンライン同時配信

※新型コロナウイルス感染症対策として、開催時の状況に応じたキャパシティでホールの入場人数を設定します。また今後の状況により全面オンラインでの開催になる可能性もございます。予めご了承ください。

■参加費：交通工学研究会 正会員 8,250 円 特別会員 8,800 円 学生会員 3,850 円 非会員 9,900 円(消費税込)

■プログラム (プログラム内容は若干の変更がある場合もございますのでご了承ください)

<p>1. 交通ビッグデータ、どう使いますか？ 何かには使えそうだが、実務への適用の糸口が中々見い出せず、また巨大すぎて使い勝手が良いとは言えない交通ビッグデータ。道路安全の対策立案と効果評価、交通信号の遅れ時間帰還制御、そしてピークロードプライシングによる交通需給の新たな均衡実現などへの適用を例として、複数の情報ソースの実用への道筋を考えます。</p>	<p>赤羽 弘和 千葉工業大学</p>	<p>10:30 ～ 11:20</p>
<p>2. ビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策 生活道路の交通安全対策は、地域の関係者や住民との連携により、課題の把握から、対策立案、実施、効果検証、対策の改善までの一連の流れを継続的に行うことが基本となります。この際、課題や効果をデータを用いて可視化することで、効果的な対策の立案や、関係者・住民の合意形成の円滑化につながります。講習会では、ETC2.0 プローブ情報を活用した手法について紹介をします。</p>	<p>池田 武司 国土交通省 国土技術政策総合研究所</p>	<p>11:20 ～ 12:00</p>
昼休み		
<p>3. モバイル空間統計と交通状況把握 新型コロナウイルス感染症の影響で人々の行動が大きく変化し、それを把握する人流データへの注目が上がっています。本講演では、人流把握技術の一つであるモバイル空間統計について、その仕組みについて解説します。加えて、モバイル空間統計を活用することで実現できる交通状況の実態把握を分析事例を交えながら紹介します。</p>	<p>鈴木 俊博 株式会社 ドコモ・ インサイトマーケティング</p>	<p>13:00 ～ 13:40</p>
<p>4. 首都高速におけるビッグデータを活用した道路管理並びに今後の事業展望について 首都高では、交通量データはもとより、各種工事のしゅん工、点検、補修履歴等の様々なデータを保有しています。これらのデータを効率的・合理的に利用した道路管理システムの今後の展望、さらには様々なデータを利活用した将来的な事業展望について、DX 推進の立場から報告します。</p>	<p>日隈 宏治 首都高速道路 株式会社</p>	<p>13:40 ～ 14:10</p>
<p>5. 交通ビッグデータを活用した新しい交通管制技術 警察では、今後の交通管制の在り方に関する調査研究を進めており、新たな交通管制システムに関する検討を実施しています。特に、民間プローブ情報を活用した信号制御については、様々なユースケースへの利用が期待できる反面、実際の信号制御を行う上での諸問題も想定されます。ユースケースを踏まえた実証実験を来年度に予定しており、その概要について紹介します。</p>	<p>井内 正紀 警察庁交通局</p>	<p>14:10 ～ 14:40</p>
休憩		
<p>6. パネルディスカッション 参加者からの質問をもとに討議</p>	<p>コーディネーター：赤羽弘和(千葉工業大学) パネリスト 講演登壇者：池田武司、鈴木俊博、日隈宏治、井内正紀</p>	<p>15:00 ～ 16:30</p>

参加登録について

- ・2022 年 5 月中旬より、当会ウェブページに、申込方法等の詳細をご案内します。
- ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込期間：2022 年 5 月中旬～2022 年 7 月上旬を予定

参加申込に関するお問合せは、mail：maf-jste@mynavi.jp までお願いします。



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。